

Book Review

評者：徳永基与子 京都光華女子大学健康科学部看護学科 教授

看護コミュニケーション 第2版 基礎から学ぶスキルとトレーニング

著：篠崎恵美子・藤井徹也／発行：医学書院

定価：1980円（本体1800円＋税10％）



コミュニケーションの基本 見直してみませんか？

新型コロナウイルス感染症流行の収束が見えないなか、看護基礎教育の現場では学生が臨床実習に出られない状況が続いています。この状況に対応するべく遠隔教育が大きな進歩を見せる一方で、学生のコミュニケーション能力の育成が課題になっています。これを解決でき、学生だけでも学べる本を探した際に出会ったのが本書でした。

本書はコミュニケーションの知識・実践能力の修得を促進する構成となっています。第1部で看護の初学者を対象としたコミュニケーションの基本技術を解説し、第2部で看護場面における関係構築の技法を具体例をあげて解説、第3部では実際の臨床場面で遭遇する困難事例などを取り上げ、臨床場面のイメージ形成を促すように構成されています。手に取りやすいサイズのなかに基本知識から応用までが網羅されています。また今回の改訂の特徴として、新型コロナウイルスが蔓延する現状にも対応できる内容が含まれています。

本書が特に初学者である学生・新人看護師が活用しやすいと思った点は次のとおりです。

まず学習過程に沿った工夫があげられます。たとえば、章別に明示された学習目標によって習得内容がわかり、目標達成に向けた具体事例を用いた解説と確認テストで自分自身の理解度を確認できます。

次に「共感」という抽象概念を、学生の立場から具

体的な表現で示していることです。臨床実習で応用可能な内容が記載されています。

より発展した学習を進めたい学生には、根拠となる論文や資料の明示がおおいに役立つことが期待できます。一方、新人看護師にとっては、コミュニケーションの基本を確認することができるほか、現場で起こる困難な事例への対応、コロナ禍でのコミュニケーション方法（マスクの着用やタブレット端末の活用など）も押さえることができます。また、教員には「第9章 看護面接のトレーニング」が看護教育の現場で学生に指導を行う際のヒントになります。トレーニングから評価の方法、さまざまな臨床場面のシナリオにより、具体的な活用法が明示されています。

このように、本書は読者自身の学習と授業の双方で活用できるでしょう。

私たちはコミュニケーションをふだん当たり前のように行っています。しかし、看護という特殊な場面のコミュニケーションにはトレーニングが必要です。本書を手に取り、あらためてコミュニケーションの基本を振り返ってみませんか。新たな時代のコミュニケーションを考えてみる機会になると思いますよ。